

編集後記

今回は、平成30年度の修了生2名分をもって第16巻としました。

前回第15巻が発刊され、継続して発刊することができたのは喜ばしいことです。修士論文を提出した全員が2年間の課程の中で研鑽を積みました。その成果は、修士論文原稿としては提出しなかった者も含め修士論文要旨の形で全員紹介されていますからご覧ください。

刊行物に掲載するということは自分の思考を世に問うということであり、今後どのような道を歩まれようと、自らの指針となると思います。

読者の皆様には温かく見守っていただき、作者である皆さんは大学院2年間の生活を思い出し、今後の研鑽・向上に繋げることを期待します。

出版・校正に当たり、編集委員および大学院職員の方々に大変お世話になりました。記して謝意を申し上げる次第です。

(権田/記)

編集委員(教員)

○権田 和雄 菅尾 暁 吉村 真性 (○印委員長)